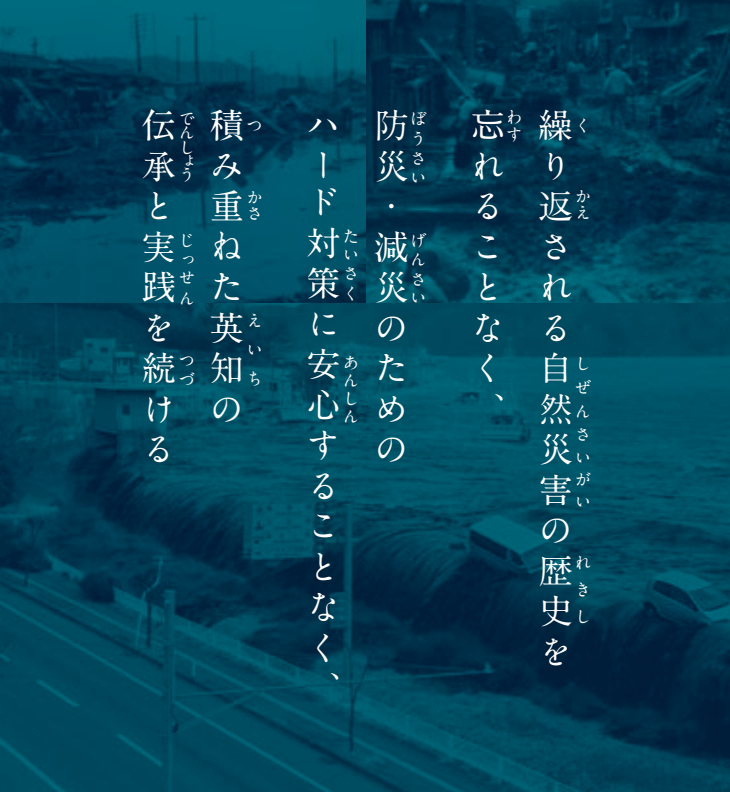




伝承と実践を続ける
積み重ねた英知の
ハード対策に安心することなく、
防災・減災のための
繰り返される自然災害の歴史を
忘れることなく、

津波防災都市宣言

令和3年3月11日
告示第29号

宮古市は、明治29年、昭和8年、平成23年と、度重なる大津波により壊滅的な被害を受け、多くの尊い人命と貴重な財産を失ってきました。そのたびに市民の不屈の精神と深い郷土愛により被害を克服し、今もまた東日本大震災からの復興の歩みを進めています。

私たちは、津波災害から学んだ多くの教訓を胸に、その歴史を忘れることなく、時代により移り変わる災害への対処と地域防災力の向上に努め、積み重ねた英知を次の世代へと引き継いでいきます。

東日本大震災に罹災した日、御霊の鎮魂を祈念し、一人の犠牲者も出さないことを誓うとともに、市民一人ひとりが津波防災に取り組み続ける先駆けの地となるため、ここに宮古市を「津波防災都市」とすることを宣言します。

宮古市の 震災 伝承施設



たろうぼうしょうてい
田老防潮堤

津波による被害を受けて整備された巨大防潮堤。東日本大震災による津波でも被害を受け、復旧整備が進められました。



つなみいこう
津波遺構

たろう観光ホテル

4階まで浸水し2階部分までは柱を残して流出したホテルを津波遺構として保存整備しています。



たろう
潮里ステーション

道の駅たろうの観光案内所であり、田老地区の防災ガイド「学ぶ防災」の受付などを行っています。



しんさい
震災メモリアルパーク
なか
中の浜

高さ15mを超える津波の被害を受けた海沿いのキャンプ場を、震災遺構公園として再整備した施設。



みやこししみんこうりゅう
宮古市市民交流センター
ぼうさい
防災プラザ

宮古駅近くにある「イーストピアみやこ」内に整備された防災学習エリア。



宮古市災害資料アーカイブみやこあす
<https://miyako-archive.irdes.tohoku.ac.jp>



宮古市災害資料伝承館

Miyako City Museum of Disaster Materials and History

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌営業日）、年末年始
開館時間：9:00～17:00

住所：〒027-0301 岩手県宮古市田老字館が森129番地2

電話：0193-65-6852 FAX：0193-65-6853

URL <https://385-densho.jp/>

宮古市災害資料伝承館

Miyako City Museum of Disaster Materials and History



災害から

「いのち」を守る

Protecting Lives from Disasters



岩手県
宮古市



多目的室 1・2 Multipurpose Room 1・2

田老港を臨む多目的室。
ワークショップや企画展が開催されます。

デジタル映像やパネルなど 多様な資料を展示

ジオラマやパネル展示のほか、
津波映像や証言インタビュー映像など、
様々な資料に触れることができます。



Document Reading Booth

資料閲覧ブース

館内の PC から
宮古市の自然災害
データベースにアクセス。

展示室 Exhibition Room

田老防潮堤とまちづくりの歴史 プロジェクションマッピング

津波常襲地である田老地区に築かれた
「万里の長城」田老防潮堤と、
防災まちづくりの歴史を、
プロジェクションマッピングで解説します。



東日本大震災津波の被害の様子を、
宮古市内の地区ごとに詳細に伝えています。

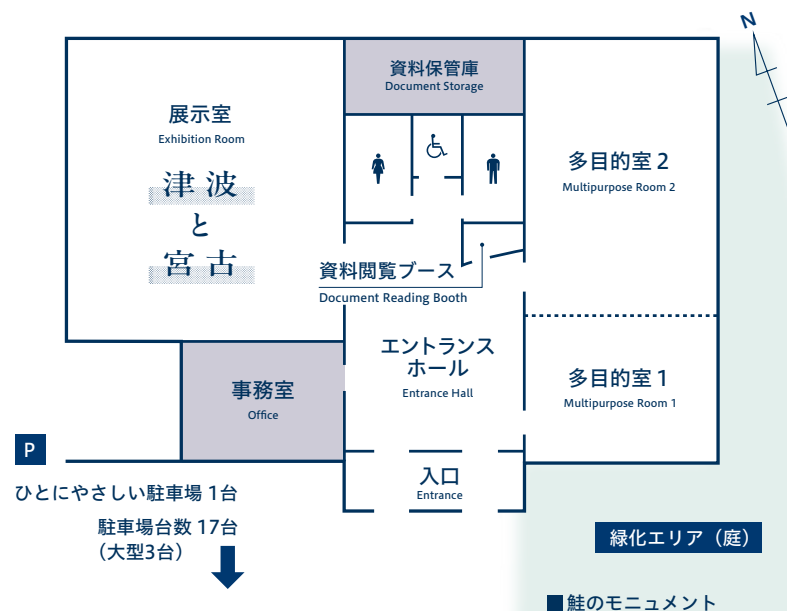


災害の歴史・資料を 後世に伝える

宮古市の過去の自然災害の歴史を、
当時の資料や証言を交えながら紹介します。



被災した道路看板や
生活用品は、
津波の威力を物語ります。



■ 鮭のモニュメント